

令和6年度 第2回文化財保護委員会 会議録

開催日時	令和6年2月6日 木曜日 13時30分から14時30分まで
開催場所	二宮町生涯学習センターラディアン ミーティングルーム1
出席者	島崎直人委員長、古宮雅明副委員長、 井上太郎委員、宮原俊一委員、和田智司教育長
事務局	椎野教育部長、山下生涯学習課長、二見生涯学習班長、 石坂副主幹、中山会計年度任用職員
傍聴者	なし

1. 開会

2. 教育長あいさつ

3. 委員長あいさつ

4. 議題

(1) 令和6年度文化財保護関係事業及び予算の執行状況について
事務局より資料に基づいて説明【資料1】

(委員) 二宮高校の相模人形部については、コロナ禍の前はもっと活発に活動していたと思うが、最近の状況を教えてもらいたい。

(事務局) だんだん部員の数が減ってきたと聞いている。

(委員) 先日、下中座からはここでようやく1人の入部があったと聞いた。

(事務局) 学校からは部員獲得に向けて、学年にいるホームルーム委員に、委員会活動で相模人形部の活動を手伝ってもらっていると聞いている。委員のうち1人が部活動もやっており、ホームルーム委員が加わって現在2名で部活動をしている状況だが、相模人形の人形は3人で動かすものなので、活発な活動には至っていないのが現状である。

(2) 『ふるさと再発見9』の発行について

(事務局) これまで、知足寺の百万遍念仏の大数珠について研究を進めてきており、それを来年度には形にできればと考えている。これまで、このような研究については『ふるさと再発見』という冊子にまとめて刊行していたが、これからは広く町の文化や歴史を発信するという観点から、冊子ではなく、町のホームページにある「バーチャル郷土館」に公開する予

定である。

また、データは印刷して図書館に納め、手に取って読めるようにもしていく。さらにこれまで教育委員会で発行し、在庫がなくなっている本についても、順次データとしてホームページに掲載していくことを考えている。

（委 員）これまで百万遍念仏の数珠について、町史などで触れられてはいないのか。

（事務局）『二宮町史 別編』の絵画や工芸を紹介するページに、数珠の大玉の写真とそこに彫られた文字は載っているが、全体的に何が彫られているかなど、研究はされていない。

（委 員）ぜひ研究を公開できるよう努めてほしい。

（３）その他

（委 員）回覧板には「図書館だより」が挟まれてくるが、同じ様に町の文化や歴史を町民に知ってもらえるよう、「文化財だより」のような読み物を作って町民の目に触れるようにしたらどうか。

（事務局）「図書館だより」は、今年度をもって回覧板で各戸に回すのは中止となる。「文化財だより」も作成するなら「バーチャル郷土館」で公開するようになる。今後の発信は「バーチャル郷土館」が中心になると考えており、そのために現在、もっと見やすいページへ作り替えている。

また、町ではLINE 登録を進めているが、そのような新しいものも取り入れ、多くの人、特に若い人へ発信し、文化や歴史を次の世代にも伝えていく。もちろん、それらはデータを印刷して図書館にも残していく。

（委 員）いろいろな機会、いろいろな方法で広く知らせていってほしい。

５．閉会